

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】特開 2003-87148 (P2003-87148A)
【公開日】平成 15 年 3 月 20 日 (2003.3.20)
【出願番号】特願 2002-116423 (P2002-116423)
【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 B 1/40
H 0 4 B 1/707
H 0 4 J 11/00

【F I】

H 0 4 B 1/40
H 0 4 J 11/00 Z
H 0 4 J 13/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 31 日 (2005.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 所定のフォームファクタを有する支持体と、
b) 前記支持体に支持され、第 1 通信規格に従ってデータを送信するよう作動する第 1 無線周波数 (R F) トランシーバと、
c) 前記支持体に支持され、前記第 1 規格とは異なる第 2 通信規格に従ってデータを送信するよう作動する第 2 無線周波数 (R F) トランシーバと、
d) 前記第 1 及び第 2 R F トランシーバに接続され、前記 R F トランシーバの各々のベースバンド信号を処理する共通ベースバンド・プロセッサと、
を備える R F 通信用モジュール。

【請求項 2】

前記フォームファクタが、およそ 1 から 1 / 2 インチ × 1 インチ × 3 / 4 インチのスペースを占有することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ収集モジュール。

【請求項 3】

前記第 1 R F トランシーバが、第 1 アンテナと、第 2 アンテナとを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のモジュール。

【請求項 4】

前記支持体に支持され、近くに位置する記録担体上のコード化されたデータを検知し、該コード化されたデータを読むように動作する読取装置をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載のモジュール。

【請求項 5】

前記支持体が、前記 R F トランシーバ及び前記読取装置のための電気回路部品が取り付けられるプリント基板を含むことを特徴とする請求項 4 に記載のモジュール。

【請求項 6】

前記 R F トランシーバ及び前記読取装置が、前記所定のフォームファクタ内に支持されることを特徴とする請求項 4 に記載のモジュール。

【請求項 7】

前記 R F トランシーバと前記読取装置が、それぞれデジタル信号を生成し、前記プロセッサが前記デジタル信号の各々を受信し、単一高速フーリエ変換回路により処理することを特徴とする請求項 4 に記載のモジュール。

【請求項 8】

前記第 1 規格が直交周波数分割多重 (O F D M) 通信規格であり、前記第 2 規格は広帯域符号分割多重アクセス (W C D M A) 通信規格であることを特徴とする請求項 1 に記載のモジュール。

【請求項 9】

前記読取装置が、視野の前記記録担体上の二次元画像を読み取るためのイメージャーであることを特徴とする請求項 4 に記載のモジュール。

【請求項 10】

a) 手持ち式ハウジングと、
b) 前記ハウジングに支持され、所定のフォームファクタを有する支持体と、
c) 前記支持体に支持され、第 1 及び第 2 コンピュータ・ネットワークにそれぞれ関連する第 1 及び第 2 R F 基地局と通信して、端末とネットワークとの間でデータ転送するように動作する第 1 及び第 2 無線周波数 (R F) トランシーバと、
を備えるモバイル・コンピュータ・収集端末。

【請求項 11】

前記支持体に支持され、記録担体上でコード化されたデータを検知し、該コード化されたデータを読み取るように動作する読取装置をさらに備えることを特徴とする請求項 10 に記載の端末。

【請求項 12】

前記フォームファクタが、およそ 1 から 1 / 2 インチ × 1 インチ × 3 / 4 インチのスペースを占有することを特徴とする請求項 10 に記載の端末。

【請求項 13】

前記支持体が前記 R F トランシーバ及び前記読取装置のための電気回路部品が取り付けられるプリント基板を含むことを特徴とする請求項 11 に記載の端末。

【請求項 14】

前記 R F トランシーバの各々が、第 1 アンテナと、第 2 アンテナとを含むことを特徴とする請求項 10 に記載の端末。

【請求項 15】

前記 R F トランシーバは、それぞれ異なる通信規格を用いて前記データを伝送するものであることを特徴とする請求項 10 に記載の端末。

【請求項 16】

前記規格の一つが直交周波数分割多重 (O F D M) であり、前記規格の他方は、広帯域符号分割多重アクセスであることを特徴とする請求項 15 に記載の端末。